

図書館ボランティア通信

調布市立図書館

● 第2回ボランティアミーティングを開催しました

7月17日(木)、第2回図書館ボランティアミーティングを開催しました。図書館ボランティア12人の方が参加され、昨年度の活動報告や今年度の活動などについて意見交換を行いました。また、普段見ることのできない中央図書館のバックヤード見学と、調布市総合防災安全課が制作したDVD「母と息子と言葉の物語」を鑑賞しました。



活動報告について

図書館から平成25年度の図書館ボランティアの活動について報告しました。宅配サービスを受けている人は、団体を含め170人、宅配回数は1303回、貸出冊数は8380冊でした。平成24年度の実績(宅配回数780回、貸出冊数4302冊)と比べると大幅に伸びています。

宅配協力員(ボランティア)は、今年度8人が加わり、総人数47人です。

書架整理のボランティア登録者は今年度9人増え、合計54人の登録となります。

引き続き、みなさまの力をお借りしながら、利用しやすい図書館づくりを目指していきます。



中央図書館バックヤードを見学!

参加者を2グループに分け、中央図書館の地下書庫・5階映画資料室内にある書庫・5階倉庫内にある新聞切抜き製本・6階整理作業室と選書作業室・ハンディキャップサービス室をそれぞれ見学しました。

短い時間でしたが、参加者のみなさんとても熱心にご覧いただきました

◆地下書庫

地下書庫は2層構造で、上層は電動式の集密書架、下層は固定書架になっています。地下書庫には、受入れ後、数年経過し、貸出しが少なくなった資料を置いています。現在の収蔵冊数は、一般・児童資料・雑誌などを合わせ、約40万冊です。



◆ハンディキャップサービス室

図書館利用に障がいがある方へのサービスを担当しているところです。録音図書の貸出、対面朗読、点訳サービス、宅配サービスなどを行います。

点訳・音訳のための色々な機材があります!

◆映画資料室の書庫（閉架書庫）

調布市は角川大映と日活の撮影所があることから、日本映画、とりわけ大映・日活を中心とした映画関係資料を収集して配架しています。図書は約8000冊があります。今回は映画資料室の裏側にある閉架資料をご覧ください。

地下では貴重なパンフレットやポスターも!

◆6階の整理作業室と選書作業室

調布市立図書館全館の図書・雑誌を受入れし、整理しています。図書だけで1日約200冊受入れします。また隣の選書作業室では、書籍の取次ぎ会社から送られてきた新刊本などを選書します。

ほぼ毎日新刊が届きます



情報交換タイム

～出されたご意見を紹介します～

Q 調布市の人口の3～4%程度は外国人だと思われます。調布市立図書館として外国人の利用促進のための施策は考えていますか?

A 登録者のうち外国人だけを集計するシステムではないため、外国人登録者数の正確な数字は分かりかねます。ただし、電気通信大学の留学生が多いので、潜在的な要望は多いと思われます。外国人向けの利用案内の改訂など、利用者数全体の増加を図る取り組みを考えていきます。

Q 書架整理をしていて、写真集などの厚い本は非常に重く、ストッパーがないと倒れやすい。どうすればいいのでしょうか。

A 大型本の整理は力仕事であり、大変かと思ひます。無理に抜き出したりせず、背を揃える程度で構ひませぬ。また、書架に入りきれない場合は、ブックトラックに置くようお願いします。



DVD「母と息子と言葉の物語」上映

オレオレ詐欺などの特殊詐欺被害について、市内では平成25年度、被害件数58件、被害額は約2億7千万円でした。今年の6月末現在16件、被害額は4200万円と被害が続いています。そこで今回は、市が制作したオレオレ詐欺防止DVD「母と息子と言葉の物語」を上映しました。各図書館をはじめ、総合防災安全課、地域福祉センター、地域包括支援センターで無料貸出しをしています。ぜひ近隣の方やお知り合いの方へ宣伝していただき、オレオレ詐欺の被害防止に役立ててください。

「図書館ボランティア通信」は、調布市立図書館のホームページからもご覧いただけます。バックナンバーも掲載していますので、ぜひご覧ください。

調布市立図書館のホームページ <http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/index.shtml>